



成果指標				
成果指標	市税収納率			
指標設定の考え方	自主財源確保の観点から、現年分・滞納繰越分を併せた収納率を指標とする。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目 標	95.5%	95.5%	95.5%	95.5%
実 績	95.41%	95.62	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	2	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市税収納率が前年度と比べて0.21%アップしており、目標収納率を達成することとなった。引き続き、滞納処分による徴収強化を推進するも、小額案件の処分方法については、効率面を考えた取り組みを検討する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	市税収納率が前年度と比べてアップしており、目標収納率を達成することができた。引き続き、滞納処分による徴収強化を推進し、小額案件の処分方法について、効率面を考えた取り組みを検討し、収納率の向上に努められたし。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。
意見、課題	収納率が毎年向上しており、税負担の公平性からも悪質滞納者への厳格な滞納処分を実施し、限りなく100%を目指してほしい。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	